

こ みち
教育の小径

【今月の花】
トケインソウ
【花ことば】
信じる心
聖なる愛

今月の記念日 時の記念日(6月10日)

東京天文台と生活改善同盟会が、生活の改善と合理化を進めることを目指して、大正9年(1920年)に制定されました。この日は、天智天皇が宮中に時を告げるため、漏刻水といわれた水時計を設置した日(671年4月25日)を新暦に直した日です。



国士舘大学教授
北 俊夫先生

今月の
テーマ

「個に応じた指導」の充実とは

- 子どもの学習状況を「差と違い」の両面からとらえることによって、個に応じた指導をあらゆる教科等で進めることができます。
- 多様な子どもたちが多数存在している学級集団を対象にした一斉学習においても、個に応じた指導力を発揮することが求められます。

習熟の程度や理解度に応じる

個に応じた指導とは、子どもたちが最適な状況で学習を展開し、より高い学習効果を実現できるよう、教師が一人一人の学習状況を的確に理解し、それに応じて手厚くかわることです。その具体策として「習熟度別学習(指導)」という取り組みが、熱心に行われるようになってきました。

これまで多くの学校では、子どもの学力向上を目指して、算数科を中心に学習集団の構成の仕方や教材の開発と作成、それに指導体制の改善などさまざまな工夫を行いながら取り組まれてきました。その結果、個に応じた指導の象徴として、習熟度別学習は徐々に市民権が得られるようになってきたと言えます。

習熟の程度や理解度に応じて、同質の少人数集団を再編成することによって、一人一人の子どもにより手厚くかわることができます。その結果、子どもの学力を高めることができることから、これからは習熟度別学習はさらに広がり定着を図っていくものと思われま

個に応じた指導は、算数科だけで行えばよいのでしょうか。そんなことはありません

ん。すべての教育活動の場で求められている指導の原則です。

学習の「差と違い」を生かす

一人一人の学習状況を程度や理解度という学習の「差」だけでなく、「違い」という学習の多様性に目を向けると、社会科や理科、総合的な学習などほかの教科等でも個に応じた指導ができるようになります。これは子ども一人一人の興味・関心や問題意識などに応じて指導することです。

これまでも、同じことを調べたり実験したりする子どもたちで小集団を編成して指導してきました。これも同質の集団を対象にした少人数指導で、個に応じた指導のひとつです。

学習は個別に成立する営みです。また、その学習は一人一人においてじつに多様です。学習の「差と違い」に着目して一人一人の学習状況を理解・把握し、それらを生かしながらあらゆる教科等の指導において個に応じた指導をさらに充実させたいものです。

では、同質の少人数集団を編成しなければ、個に応じた指導はできないのでしょうか。

ひとりて学ぶ・みんなと学ぶ

多様な子どもたちで構成される多人数の集団と比べれば、確かに子どもたちに手厚くかわることができます。ところが、個に応じた指導は、多様な子どもたちから構成される多人数の学級集団を対象に行うことも可能です。また必要なことです。ベテランといわれる先生は、一斉学習においてもつねに一人一人の子どもに目配りし、個別的な配慮や個に応じた指導を行っています。これは一斉学習における個に応じた指導力といえるでしょう。

学級は「小さな社会」といわれるように、さまざまな子どもたちで構成されています。違った意見を認め合い、つまづいている友だちを支え合うことの大切さを学ぶ場でもあります。これは家庭や学習塾では学べない、学校ならではの学習スタイルです。多様な友だちで構成される学級集団で養われる共に学び合う態度や能力は、社会生活を営むために必要となるものです。

自分ひとりで学ぶ力(自学力)とともに、みんなと協力して学ぶ力(共学力)を育てる観点から、個に応じた指導のあり方を考えたいものです。

図画工作科では、造形的な創造活動が重視されます。それには、豊かな感性を働かせながら作品をつくり出す喜びを味わわせ、情操を養う役割があります。人間形成にとっても大切な教科です。そのため創作活動では、何よりも一人一人の思いや願いが重視されます。その結果、作品にも多様性が見られます。

図画工作科の授業に関して話題になることのひとつに、子どもの作品をどう評価するかという問題があります。作品の作成過程における学習態度を評価することも大切ですが、ここでは完成した「表現物」を評価することを指します。予め決定されている評価規準に照らして判断するのですが、結果が教師によって違うことがあります。

ある先生は「構図がよく、元気に描かれていて、大変よい」と積極的に判断しても、その作品をほかの先生は「もう少し丁寧さがほしい」と評価することができます。作品のよさを感じるためには、教師自身が作品の見方を研修するとともに、優れた作品を数多く鑑賞することが大切でしょう。



ドリルは繰り返し学習し、学習事項を定着させるための優れた教材です。典型的なものに、国語科の漢字ドリルや算数科の計算ドリルがあります。

これらのドリルは、毎日継続して行うことによって成果が出てきます。そのためには、朝の会などの時間を活用し、習慣化するとよいでしょう。

ドリルには一般に答えを書き込むことはありません。答えを書く用紙やノートを用意します。通常巻末などに答えが示されていますから、答えが合っているかどうかを子どもに自己評価させることができます。低学年の場合は教師が点検するようにします。

ドリルは家庭で行うこともありますから、ドリルを活用する意味や方法、保管などについて事前に保護者に説明しておくとい

でしょう。

繰り返し行くと、学習がマンネリ化することがあります。新出した漢字をいくつか書く場合、一文字ずつあるいは熟語ごとに書くようにします。子どもの中には早く書くことを意識して、漢字の一部を続けて書き、漢字を仕上げていることがあります。このような場面に会ったときやそうした漢字を見かけたときには改めるよう指導します。

社会科や理科などの教科でも、大切な事項や言葉などをドリルを活用して定着を図ることが大切です。



教育キーワード 医薬品の指導

私たちの体には自然治癒力がありますが、医薬品を服用して健康な体の回復を図ることがあります。医薬品は、病気の治療や予防、検査などのために使われますが、その使い方を誤ると、健康障害を起こすなど取り返しの付かないことにもなります。

いま、医薬品の正しい使い方など基礎的な知識を身につける指導が求められています。具体的には、薬の働きや形

態、使うときの用法や用量、約束ごとなどです。服用する時間について、食前、食後、食間、就寝前などといいますが、具体的な時間を知らない子どもが多いようです。専門的な知識をもっている養護教諭や学校薬剤師などの協力を得て指導したいものです。

日本学校保健会から『くすりってなあに?』という小学生向けの副読本が出されています。

学級通信に使える今月のイラスト



カエル



雨がさと長づつ

編集後記

小社が「くりかえし漢字ドリル・計算ドリル」を発刊したのは、昭和31(1956)年のこと。当時の価格は、25円でした。以来半世紀以上にわたって刊行を続けています。中には親子三代で使っていた方もいらっしゃるという、息の長い教材です。(H記)

Information (PR)

てのひら文庫

文部科学省後援
「てのひら文庫賞」
読書感想文
全国コンクール
募集中!

子どもたちの小さなてのひらにのせられ、あたためられ、随所に運ばれ、そして、くい入るように読破してもらいたい。一そんな願いがこめられた読書教材です。

- 総監修 児童文学作家 石森延男
- A5判 16~28ページ 4色・1色
- 1~6年 各12冊
- 学校納入定価 各130円 (本体価格124円+税)

